

**製品名: TMPRSS3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19072**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	49kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TMPRSS3
別名	TMPRSS3; ECHOS1; TADG12; Transmembrane protease serine 3; Serine protease TADG-12; Tumor-associated differentially-expressed gene 12 protein
遺伝子 ID	64699.0
SwissProt ID	P57727
免疫原	抗血清はヒト TMPRSS3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 405-454

**背景**

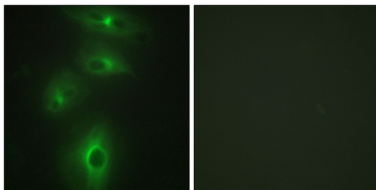
この遺伝子は、セリンプロテアーゼファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質には、セリン

プロテアーゼドメイン、膜貫通ドメイン、LDL 受容体様ドメイン、およびスカベンジャー受容体システインリッチドメインが含まれています。セリンプロテアーゼは様々な生物学的プロセスに関与することが知られており、その機能不全はしばしばヒトの疾患や障害につながります。この遺伝子は、先天性および小児期発症の常染色体劣性難聴との関連性から特定されました。この遺伝子は胎児蝸牛をはじめとする多くの組織で発現しており、内耳や外リンパおよび内リンパの内容物の発達と維持に関与していると考えられています。また、この遺伝子は卵巣腫瘍で過剰発現する腫瘍関連遺伝子としても特定されています。選択的スプライシングによる転写バリエーションが報告されています。 [RefSeq 提供、2012年1月],疾患: TMPRSS3 の欠陥は、非症候性感音難聴常染色体劣性 10 型 (DFNB10) [MIM:605316]の原因です。 ,疾患: TMPRSS3 の欠陥は、非症候性感音難聴常染色体劣性 8 型 (DFNB8) [MIM:601072]の原因です。 DFNB8 は感音難聴の一種です。 感音難聴は、内耳の神経受容体、脳への神経経路、または音情報を受信する脳領域の損傷によって生じます。 ,機能: おそらくプロテアーゼ。 ENaC を活性化する能力があると考えられる。 ,PTM:自己タンパク質分解による活性化を受ける。 ,類似性:ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。 ,類似性:LDL 受容体クラス A ドメインを 1 つ含む。 ,類似性:ペプチダーゼ S1 ドメインを 1 つ含む。 ,類似性:SRCR ドメインを 1 つ含む。 ,組織特異性:胎児蝸牛を含む多くの組織で発現する。 アイソフォーム T は一部の癌腫で高レベルに発現する。 ,

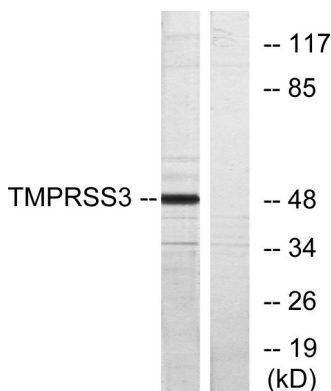
## 研究分野

神経科学、神経プロセス、神経変性疾患、細胞生物学、タンパク質分解/ユビキチン、タンパク質分解酵素、セリンプロテアーゼ、TMPRSS

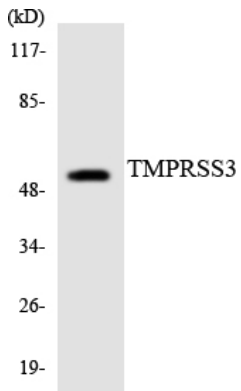
## 画像データ



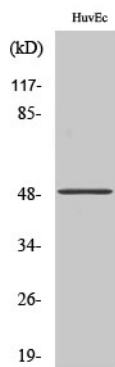
TMPRSS3 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



TMPRSS3 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



TMPRSS3 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TMPRSS3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。